

岡崎市民病院

病院長名	小林 靖
所在地	〒444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合 3 番地 1
交通案内	名鉄バス：「市民病院」下車； 「名鉄・東岡崎駅」・「愛知環状鉄道・大門駅」より 25 分、 「名鉄・美合駅」より 12 分、「JR・岡崎駅」より 30 分

病院の特徴

岡崎市民病院は 1878 年に開設された愛知県公立病院岡崎支病院にルーツを持ち、1998 年 12 月に現在の位置に新築移転しました。岡崎市（人口 38.4 万）と南隣の幸田町（人口 4.2 万）を合わせた約 43 万人の医療圏で唯一の 3 次救急病院として重要な役割を果たしています。開業医との病診連携も整備されているため症例数が多く、しかも疾患の偏りがありません。2019 年 4 月には、愛知県がんセンター愛知病院が岡崎市に移管され、専門性の高いがん診療についても岡崎市民病院で実施することになり、また、2020 年 4 月からは da Vinci の導入により低侵襲ロボット支援手術も行われるようになりました。病床数 680 床、年間約 420 件の分娩件数、年間約 6000 件の手術件数と豊富な症例で多種多様な疾患を体験し幅広い手技を経験できます。まさに初期研修には最適の環境といえます。

研修の特徴

当院は、救命救急センター・集中治療センターを備え、3 次救急病院として地域の急性期医療を担っています。24 時間対応の救急外来では、1 次から 3 次救急までの患者さんと、年間約 9,000 台の救急車を受け入れ、多種多様な救急疾患を経験し、臨床医に不可欠な実践力（考察力、判断力、技術力）を習得できます。院内での教育プログラムも充実しています。

- ・シミュレーション教育（中心静脈カテーテル、動脈ライン、胸腔穿刺、腰椎穿刺、気管内挿管、縫合、聴診トレーナー等）
- ・救急外来 超音波研修、看護実習、接遇研修、ゲノム医療研修
- ・ICLS（日本救急医学会認定 心肺蘇生コース）
- ・OCMEC（意識障害初療コース）
- ・OTMEC（外傷初療コース）・ODMEC（災害医療コース）
- ・JPTEC（日本臨床救急学会認定 外傷コース）
- ・ICU カンファレンス、救急科カンファレンス
- ・ER レクチャー・ER 振り返り
- ・ACP 研修、緩和ケア研修
- ・CPC・キャンサーボード
- ・岡崎市民病院初期研修医学術集会・発表会
- ・感染対策勉強会・医療安全勉強会
- ・多職種回診（早期離床回診・NST 回診・緩和回診・DST 回診）
- ・放射線読影セミナー
- ・医学論文セミナー、医学英語学習
- ・縫合コンテスト



メッセージ

指導医（プログラム責任者 薦田 さつき）

岡崎市民病院での初期研修の最大の特徴は、数多くの救急症例を経験できることです。実際に多様な疾患を数多く診ることで、判断力、実践力が 2 年間で自然と身につきます。また、平日交替勤務制のため、夜勤の前後には、休養と各科研修に備えた自宅学習を行うことができる体制です。初期研修に必要な教育プログラムはもちろん、定期面談をはじめ、毎日の体調・研修状況に応じたきめ細かいカウンセリング・指導を随時行っています。「岡崎市民病院で研修して良かった」と思っていたけりよう全力でサポート致します。

研修医（2 年次 研修医）

ファーストタッチで着実に力が身につきます！研修医を大切にする病院です。初期研修先として当院を選んだのは、救急外来で多くの患者さんを診たかったから。実際、1 年目から多くの患者と接し、上級医の先生にも質問しやすい環境です。学びに関しても様々な勉強会で研修医が発表できる体制が整っています。出身大学も多様で、共に支え合える存在だと思っています。



募集要項

・採用実績	2024 年度 14 人 ・ 2025 年度 14 人	
・給与／月額	1 年次 458,700 円	2 年次 535,100 円 (※基本給料に諸手当を含んだ見込額)
・賞与	1 年次 1,136,941 円	2 年次 1,822,244 円
・夜間勤務	約 4 回/月	
・その他	・通勤手当 ・扶養手当 ・住居手当 最大 28,000 円/月	
・応募連絡先	担当者 事務局総務課 鶴田 抄子 電話番号 0564-66-7012 E メール hospital.jinji@city.okazaki.lg.jp	